

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン

令和2年10月1日

南城市文化センター館長

平素より、当館をご利用いただきありがとうございます。

南城市文化センターでは、お客様が安心・安全にご利用できるよう、これまで以上新型コロナウイルス感染症感染拡大予防に努め、以下の対策を講じています。

1. 基本的な感染予防策

(1) 感染防止のための入場者整理の方法

① 密にならないための対策

- ・館内が混雑しないよう、必要に応じて入館制限を設ける。
- ・定員内でも客席の間を設ける。
- ・窓口やトイレ等では、2mの間隔で床にテープを貼り誘導する。

② 発熱等の症状のある方の入場制限

- ・37.5度以上の発熱や咳、頭痛等の症状のある方は、入館をお断りする。

③ その他

- ・各施設の出入口に感染拡大予防策を掲示し、施設利用者へ感染予防の協力をお願いする。

(2) 対人距離の確保の方法

① 接触感染対策

- ・ロビー等の席は対面にならないよう配置を工夫し、間隔を可能な限り広くする。

② 飛沫感染対策

- ・受付窓口は透明ビニール等で遮蔽する。
- ・来場者は、全員マスクを常時着用する。

(3) 施設の換気対策

- ・常時、施設内の換気を行う。
- ・冷房時でも換気対策は同様に行う。

(4) 施設・設備・備品等の消毒対策

- ・利用後には消毒を行い、カウンター、ドアノブ、手すりなどの高頻度に接触する場所は特に注意して消毒を行う。

(5) その他基本的な感染症予防策

- ・万が一感染が発生した場合に備え、参加者の追跡が可能なよう、連絡先を把握すること。
- ・利用者へごみの持ち帰りを促す。
- ・トイレの蓋を閉めて流すよう表示する。
- ・消毒や清掃を行う場合は手袋を着用する。

南城市文化センターご利用の際に遵守していただくこと

- ◎ 37.5 度以上の発熱や咳、頭痛等の症状のある方はご入館をお断りすること。
- ◎ 飛沫感染を防ぐため全員マスクを常時着用すること。
- ◎ こまめな手洗いをすること。
- ◎ 入館及び退館時には手指消毒をすること。
- ◎ 出入口や窓を開放し、常時換気に努めること。
- ◎ 間隔をあけた座席配置や対人距離の確保に努め、密にならないように努めること。
- ◎ ごみは各自で持ち帰ること。
- ◎ 万が一感染が発生した場合に追跡が可能なよう、来館者全員の連絡先を把握すること。
- ◎ 「新型コロナウイルス感染症感染拡大対策チェックリスト」を提出すること。

収容定員

これらを踏まえ、10月より当面の間（11月末まで）各施設の収容定員を以下のとおりとします（100%の入場を可）。ただし、大声での歓声、声援が想定されるものについては、50%以内の定員とします。

シュガーホール		コミュニティ供用施設	
部屋名	定員	部屋名	定員
コンサートホール	510	集会室	100
楽屋 1	6	会議室（洋）	20
楽屋 2	6	会議室（和）	20
楽屋 3	6	視聴覚室	20
リハーサル室	30	実習室	20
屋外ステージ（つきしろ広場）			510

ご利用に際してご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

【問合せ】南城市文化センター 電話（098）947-1100

新型コロナウイルス感染症感染拡大対策チェックリスト

南城市文化センター 殿

施設利用申請者

団体名

代表者

電話番号



利用日	
催し物名	
利用施設名	シュガーホール リハーサル室 楽屋1 楽屋2 楽屋3 集会室 洋会議室 和会議室 実習室 視聴覚室

新型コロナウイルス感染症の集団感染予防の為、施設利用にあたり以下の条件を遵守します。

- 発熱や咳、頭痛等の症状のある方の入館はいたしません。
- 飛沫感染を防ぐため全員マスクを着用します。
- こまめな手洗いを行います。
- 入館及び退館時には手指消毒を行います。
- 出入口や窓を開放し常時換気に努めます。
- 間隔をあけた座席配置や対人距離の確保に努め、密にならないよう配慮します。
- 万が一感染が発生した場合に追跡が可能なよう、来館者全員の連絡先を把握します。
- ごみは持ち帰ります。

受領日 令和 年 月 日

館長	副館長	受付

※原本は南城市文化センターが保管し、コピーを申請者が保管します。